

10月3日
(月)

- 資源開発の住友金属鉱山(東1 5713)は、プラント建設中のフィリピンミンダナオ島・タガニート地区(ミンダナオ島北東部)が武装勢力により襲撃されたと発表した。同地区では住友金属鉱山の従業員が数名勤務していたが、いずれも無事が確認された。
- 住友金属鉱山は3日夜から4日夜にかけて、状況を第三報に分けてリリース。東南アジアのカントリーリスクを感じる非常に緊迫したIRであった(なにより無事でよかった)。

10月4日
(火)

- Mobage運営のディー・エヌ・エー(東1 2432)は、チリのゲーム開発会社 Atakama Labs S.A.(アタカマ・ラブズ)の買収を発表した。買収額は非公表。ディー・エヌ・エー初の南米における開発拠点として、主にグローバル版「Mobage」向けソーシャルゲームの受託開発を行う予定。
- ディー・エヌ・エーは、今年9月にもベトナムでゲーム開発会社を買収するなど、海外進出を加速している。GMOインターネットも今年6月にベトナムのオフショア開発会社を買収するなど、ソーシャルゲーム業界のスピーディーな海外展開が目が離せない。

10月5日
(水)

- ショッピングセンター運営のイオン(東1 8267)は、中国・四国地方にスーパーマーケットを展開するマルナカ及び山陽マルナカの子会社化を発表した。買収金額は約450億円で、イオンはマルナカの約95%の株式、山陽マルナカの100%の株式を取得する。
- マルナカはグループ売上が約3000億円と、日本でも有数の規模のスーパーマーケット。イオンは本買収により、中国・四国での勢力を拡充させる。
- 比較的手薄である九州地区に、イオンが今後どのようなM&Aを仕掛けていくかが注目される。

10月6日
(木)

- ソフト開発コンサルの豆蔵OSホールディングス(東マ 3756)は、ITインフラ構築・労働者派遣のジェイエムテクノロジー(福Q 2423)へのTOBを発表した。TOB価格は6日終値の2倍強の70,000円。本TOBにより豆蔵はジェイエムテクノロジーを完全子会社化、福岡における拠点の確保・事業分野の拡大を図る。
- ジェイエムテクノロジーは福岡Qボード上場第2号の企業であり、近年時価総額が伸び悩んでいる地方市場にとっては、上場廃止は寂しい限りである。なお7日のジェイエムテクノロジーの株価はストップ高の37,500円。

10月7日
(金)

- 光学関連機器のセコニック(東2 7758)は第三者割当増資を発表した。引受先は既存株主(筆頭及び第2順位)であり、約2億円を調達する。調達した資金は子会社への貸付および設備投資に充当する。
- セコニックの株価は10月7日終値で93円、時価総額は約15億円。時価総額が比較的小さい企業の増資ということもあり、週明けの株価への影響が注目される。

【本レポートに関するお問い合わせ先】
株式会社エスネットワークス 高桑 昌也
Tel:03-5573-4661 / m-takakuwa@esnet.co.jp
<http://www.esnet.co.jp/es/>

無料レポートの登録はこちら!
<http://esnet.ssslserve.jp/es/mailmagazine/>

月額2万円で経理・経営企画・財務研修が
受け放題
<http://www.esnet.co.jp/esr/>